

## 2024 年度 第 2 回北河内地区連絡協議会

### I. 開催日時・場所・出席者

開催日時：2025 年 3 月 18 日（火）14:00～16:40

開催場所：交野市ボランティアセンター 2 F 会議室

出席者：（敬称略）

（本部専務理事）田中千鶴子 （北河内地区担当・枚方拠点）青木宏平

（枚方拠点）岡本年昭、辻洋子 （寝屋川拠点）今泉三千代

（交野拠点）戸田十九一、坂元良子、大西聡明、村田ひさ子、田中暁子、加藤愛子、中井吉和、濱口忠吉

\* 幹事拠点：交野拠点（議事録作成）

### II. 配布資料（全 7 頁）

- ① 2024 年度第 2 回北河内地区連絡協議会議案書/1 頁
- ② 北河内地区連絡協議会出席者名簿/1 頁
- ③ 北河内地区連絡協議会報告資料 枚方拠点活動等報告(2024 年 4 月～2025 年 2 月)/2 頁
- ④ 北河内地区連絡協議会報告資料 寝屋川拠点活動等報告(2024 年 9 月～2025 年 2 月)/1 頁
- ⑤ 北河内地区連絡協議会報告資料 交野拠点活動等報告(2024 年 9 月～2025 年 2 月)/1 頁
- ⑥ 北河内地区連絡協議会報告資料 四条畷拠点現況報告書/1 頁

### III. 議事（司会：交野拠点 戸田代表）

#### 1. 挨拶

##### 1) 戸田交野拠点代表

- ・ 四条畷拠点の尾形代表より出席できない旨の連絡がありました。又尾形代表よりの FAX が届いており各員に添付資料として提出しています。寝屋川拠点の今泉浩氏は所用にて欠席されました。
- ・ 本会議は各拠点の情報交換、課題、問題点を出示いただき、いろいろなお知恵をだしていただいて解決に導きたいと思います。又次の会議でも生かせるような有意義な内容なものにしたいと考えています。

##### 2) 青木北河内地区担当（枚方拠点代表）

- ・ 昨年はナルク本部と枚方拠点は創立 30 周年となり、ナルク本部では全拠点が参画する趣旨のナルリンピックが開催されました。枚方拠点も本部より事前準備や当日の運営協力を求められ対応しましたが、北河内全拠点へ広く協力を求めるべきだったと反省しています。又、枚方拠点の 30 周年記念行事には、寝屋川拠点、交野拠点からも出席いただき 200 名もの会員、ご来賓の方々が参加され盛大に行われました。
- ・ 四条畷拠点が 3 月 31 日付で残念ながら解散することになりました。（詳細は別途報告）
- ・ 2 月 19 日に枚方市総合文化芸術センターにてコーディネーター養成講座が開催されました。交野拠点より 6 名、寝屋川拠点より 3 名、本部より 1 名、枚方拠点より 16 名の会員が参加され、当日 26 名の方々に終了証書が手渡されました。

##### 3) 田中専務理事

- ・ 現在の本部の状況は来年度の事業計画を取りまとめて会報に掲載したところであり、又交通費の見直し、ボランティア保険の改善等も検討課題に挙がっております。ナルリンピックの成功は枚方拠点の協力なしでは達成できなかったと思われ感謝申し上げます。

- ① 若い方の会員を勧誘するための行動が求められています。
- ② 時間預託の内容も時代の変化（高齢化・少子化）に伴い変わってきています。
- ③ ナルクの次期リーダー育成の件も節目に来ています。

- ④ 野中会長になり行動も早くなり、考え方も若くなったように思いますが、成果が出るのには少し時間がかかるように思います。
- ⑤ 安心サポート委員会では現在のナルクの活動者も高齢化が進み時間預託の内容の変更等も協議対象となっています。
- ⑥ 新しい会員を増やす方法として地域と連帯する方策も委員会で検討しており、新年度から具体的な行動を起こすための準備を現在行っております。
- ⑦ 具体的な事業計画は本部総会にて発表されると思います。
- ⑧ 元気な拠点とそうでない拠点があり、特に解散が発生しそうな場合に対応の難しさを感じます。

## 2. 出席者自己紹介 (省略)

### 3. 前回の提案事項に対する本部の見解

- ・寄付金基本 1h500 円、送迎 1km50 円の見直しについて

\* 青木代表より説明がなされました。

①野中会長の通達にて昨今のガソリンの高騰により、ナルク設立時 120 円/ℓ が 180 円/ℓ になっており、改善が必要で交通費検討委員会を立ち上げて現在取り組んでいます。

全拠点の諸条件のデータを本部にて集計した結果、現行活動者の車両経費は 30 円/km が 35-36 円/km となり、本部案としては 40 円/km になりそうであるが、未だ決定事項とはなっていない。

(交通費の変更が決定した場合、施設関係、利用者への改定の対応が必要となります。)

②寄付金 1h500 円についてはまだ検討されていません。

出席者より、既に 1h500 円以上で行っている拠点があり、本部の見解としては拠点裁量での容認とされていますが、本件はいろいろな面で問題であるという指摘がありました。これに対する本部の統一見解をお聞きしたいと考えます。本内容は寄付金の定義、使用目的等の要素がからみ、本部でもいろいろ討議されていますが現在結論を出す状態に至っていないとのことです。

\* (寄付金アップについては出席者の皆様より多種の意見を頂きました事を追記いたします。)

- ・全国的にナルクの PR を図る取り組みについて

\* 田中専務理事より説明がなされました。

① 野中会長自ら労組関係等の組織を中心に各シンポジウム等の場でナルクの PR を行って頂いております。又定年退職後に社会貢献に関心がある方々への組合、支部等を通じてのアプローチ等合わせて行っていますが、成果については少し時間がかかるのではないかと考えます。

(3年後くらいにはマスコミ等々で取り上げて頂くよう頑張る旨の会長のお言葉に期待します。)

## 4. 各拠点前回以降の活動報告

- ・活動報告

① 枚方拠点 岡本事務局長

詳細は配布資料③参照

<主要ポイント A>

生活援助訪問事業「ナルクすこやか」が広報ひらかた 3 月号に活動内容が掲載されました。

本事業は支援員が足りない傾向にあり、支援員養成研修への参加を促す特集記事掲載を、ナルクから行政に積極的にアプローチを行い成功した一例と考えます。

<主要ポイント B>

コーディネーター養成講座は現在枚方主管で行われており、好評を得ておりますが今後は寝屋川、交野以外の他拠点の会員も参加して開催してみてもどうかのご意見を頂きました。

<主要ポイント C>

地区会は天の川クラブを活性化する原点であり、過去 3 年間、地区会すべてに青木代表が参加し

2024年度は副代表以上が各地区会に参加しました。地区会の成功例として包丁研ぎがあり、他にもハンドマッサージ、家庭バーベキューなども行っています。要は会員が何を求め、何をすれば喜ばれるのかのニーズを探ることが肝要と思います。このような地道な活動がナルクの原点なのではと考えています。

<主要ポイント D>

地域密着の貢献活動として「ナルクデー2024」、「クリーン&ウォーク」、青色防犯パト、赤い羽根共同募金活動等々の活動を行っていますが、会員以外の地域の人々にナルクを知って頂き、ナルクのPRができる良い機会だと考えます。

\*青木代表より追記として福祉施設「枚方ガーデンテラス」の支援活動が、ナルク枚方拠点ホームページを閲覧されての問い合わせで決定した旨のお話もいただきました。

② 寝屋川拠点 今泉代表

詳細は配布資料④参照

基本的には上記資料④の1項目から6項目について説明をしていただきました。

6項目の生活支援総合事業は要支援1・2の方々が対象で活動を行っています。

又ホームページは枚方拠点のご協力にてスマホ対応のリニューアルオープンに向かって現在進めています。

③ 四条畷拠点

青木代表より四条畷拠点の解散に至る経緯を詳細に説明していただきました。

解散後の会員の皆様の処遇についても説明していただきました。

④ 交野拠点 大西事務局長

詳細は配布資料⑤参照

上記資料⑤の時間預託活動、奉仕活動、会員数についての内容説明がなされました。

地域会、健康福祉フェスティバル、ナルクツアー、スマホ研修、ホームページリニューアル活動意向調査、新春懇親会、社協・包括連絡会、コーディネータ養成講座参加、等の内容説明をして頂きました。併せて時間預託活動、奉仕活動についての課題も説明頂きました。

<質疑>

- a) 交野拠点の施設のドライヤーかけ活動について青木代表から質問がありました。交野拠点では2時間に対応していますが、活動者の高齢化も伴い、通常は1時間位が妥当だと思いましたが、活動者が2倍必要になりますので、思案中でございます。
- b) 寝屋川拠点の会員増強キャンペーンの「クオカード」提供に関する質問があり、今泉代表より説明がなされました。「クオカード」については交野拠点からの経験談も説明頂きました。

5. 報告書の中で討議すべきテーマ

・会員増強

a) 枚方拠点

詳細は添付資料どおりです。

「ナルクデー」等、街中でナルクのベストを着用し活動を行う事や、会員からの口コミ紹介が有効と思います。

b) 寝屋川拠点

詳細は添付どおりです。

最初から活動ありきでなく、楽しく過ごすためにナルクに入会することが許容できるのではと考え、同趣旨のもとサークルの新設も行っており、いろいろ広げたいと考えています。

c) 交野拠点

詳細は添付とおりです。

d) 田中専務理事より

現在行っている子ども食堂の経験談から、常に人材に関してのアンテナを張っておくことが大事であるとの説明がありました。

・本部への要望事項

a) 詳細は各拠点提出の報告資料の「ナルク本部への要望事項」の欄を参照

b) 本部が行っている情報をリアルタイムで各拠点責任者に届けて頂きたい。

例えば本部の会報に掲載されている内容が拠点では全く知らされていない場合がある。

各拠点の意見を吸い上げて本部としての迅速な対応をお願いしたい。

・人材特にパソコン技能に精通した人材不足

a) 詳細は各拠点提出の報告資料の「悩みや希望事項」の欄を参照

b) 各拠点とも人材不足に陥っており妙案は現状見当たりません。

c) 会計業務の新システム導入に関して、各拠点より種々の問題点が討議されました。

本部担当者に於かれましては本部に本内容を説明して頂きます様お願い致します。

・青木代表より

高畑名誉会長ご子息の高畑厚志様(65歳)が本部会員として入会されました(豊中市在住)。

現在枚方拠点で1か月の研修中にて、多岐の現場に足を運んで頂いています。

今後本部に戻りご活躍頂けるものと大きな期待をしております

6. その他・まとめ

・次回に向けての議題設定等 特になし

・次回開催拠点 寝屋川拠点 本年9月

以上